

第3学年2組特別の教科道徳学習指導案

令和6年6月6日(木)第5校時

場 所 3年2組教室

指 導 者 田畑 亮祐

1 主題名／内容項目 勤労の尊さ／C－(13)勤労

2 ねらいと教材

(1)ねらい

主人公の女性の変容を知ることにより、働くことによって得られる喜びや充実感に気づき、自己の職業観について考えを深め、自分自身の充実した生き方を追求し実現していこうとする実践意欲や態度を養う。

(2)教材

『あるレジ打ちの女性』（出典：『中学道徳 あすを生きる 3』日本文教出版）

3 主題設定の理由

(1)主題について

本主題は、「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」C－(13)「＜勤労＞勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。」を基に設定した。「勤労」とは、自分の勤めとして心身を労して働くことである。働くことは、一人一人の人生において重要な位置を占めており、人は働くことの喜びを通じて生きがいを感じ、社会とのつながりを実感することができる。中学校の段階では、入学して間もない時期には、将来の生き方について漠然としか想像できていない生徒や、将来の夢や希望を描けない生徒も少なくない。一方で、現実的に進路の選択を迫られる時期であり、必然的に、様々な葛藤や経験の中で、自らの人生や生き方への関心が高まってくる。そのため、働くことの尊さや意義についての考えを深めるとともに、働くことについての理解を通して職業について正しい考え方を育てることが大切である。生徒一人一人が、働くことによって得られる喜びや充実感に気づき、自分自身の充実した生き方を追求し実現しようとする意欲をもたせたい。

(2)生徒について

男子10名、女子10名、計20名の学級である。2学年では職場体験学習を通して、職場で働く方々の、勤労を重んずる姿勢や遂行上の気配り・工夫・抱負などを見聞したり、働く体験を通して、その仕事の社会的意義や、人々の生活に関わる意義や尊さを実感したりしてきた。また、3学年の修学旅行では企業訪問を行い、地元にはない東京の文化・産業・生活などに触れ、視野を広げることができた。現在、進路に関する希望調査や担任との面談、進路学習を通して、自分の将来や志望校について考えているところである。高校卒業後の進路や将来になりたい職業については、ある程度決められている生徒が数名はいるものの、そこまで見据えられていない生徒もいる。また、働くことに関するアンケートでは、「職業選びにおいて、重要だと思うことは何か」という質問に対して、複数の項目から選択させたところ、「自分の好きな仕事であること」を選ぶ生徒が25%と最も多かった。次いで「やりがいがあること」が20%、「収入が多いこと」が15%となった。進路選択を迫られる中で、将来の夢を語るのではなく、自分の成績において可能な進路を模索し、職業選択においても、個人の好みや経済性を優先させ、働くことを通して社会貢献する中で得られる成就感や充実感にまで考えが及ばない生徒が多いように思われる。また、「自分が望む仕事に就けなかった場合どうするか」や「将来の仕事についてどのように考えているか」といった質問に対して、不安感があると答える生徒も多い。そのため、本教材を通して、一人一人が働くことによって得られる様々な喜びや充実感に気づき、自分自身の充実した生き方を追求し実現していこうとする実践意欲や態度を養うとともに、将来働くことへの希望をもてるように促したい。

(3) 指導について

本教材は、働くことの目的も自分の人生のビジョンも特にもてないまま転職を繰り返してきた主人公の女性が、「レジ打ちを極めよう」と決心したことを契機に、客から信頼されるようになり、仕事の素晴らしさに気づいていくというものである。希望する仕事に就けないことがあっても、自分の意識を少し変えてみることによって、目の前が開け、結果として人から感謝されたり必要とされたりして、人生の充実感がもたらされることがある。このような主人公の女性の変容を知ることによって、働くことによって得られる喜びや充実感に気づき、自己の職業観について考えを深め、自分自身の充実した生き方を追求し実現していこうとする実践意欲や態度を養いたい。本時のねらいを達成するためには、学びの深まる学習活動を工夫することが必要である。学びの深まる学習活動とは、生徒が自分との関わりで道徳的価値を理解したり、自己を見つめたり、物事を多面的・多角的に考えたりするための話し合いだと考える。生徒の感性や知的な興味などに訴え、生徒が問題意識をもち、主体的に考え、多面的・多角的に話し合うことができるように指導を工夫していく必要がある。そこで本時では、以下の点について重きをおいて、指導を行っていく。

① 自己を見つめるための工夫

事前にアンケートを実施し、自分の職業観について考えさせる。2年生で経験した職場体験学習での学びや、現在進路選択に迫られている状況、将来の仕事への不安や希望などについて自分と向き合い、深く考えることで、本時につなげたいと考える。あわせて、「働くことで得られることは何か」について考えさせ、「働くこと」への自分のとらえ方を確認しておく。自分との関わりで道徳的価値をとらえ、自己の在り方や生き方など自己理解を深めてほしい。

また、教材を自分事としてとらえ、関心をもたせるために、範読の場面では生徒に教科書を読ませずに、教師の範読のみを聞くようにしていく。教材を区切りながら発問を行い、主人公の人間像を考えさせたり、心情を読み取らせたりしていきたい。多くの情報を提示することが必ずしも効果的ではないと考える。限られた情報の提示が想像を膨らませ、思考を深める上で効果的である場合もある。資料の読み取りだけになってしまうことは避けたい。

② 多面的・多角的に考えるための工夫

生徒の思考を予想し、それに沿った発問や、考える必然性、切実感のある発問、自由な思考を促す発問、物事を多面的・多角的に考えたりすることのできる発問を心掛けていきたい。その際、情報共有を瞬時に行っていくために、オンライン掲示板アプリの「パドレット」を使用する。発問のたびに、パドレット上に自分の考えを入力していく。瞬時に多くの意見が集約され可視化されることで、多面的・多角的に考えるための思考や話し合いを深めるツールになると考える。「働くこと」の多面性に着目させ、それを手掛かりにして考察させて、様々な角度から総合的に考察することの大切さや、いかに生きるかについて主体的に考えることの大切さに気づかせたい。

4 本時の学習

(1) 準備物

Chromebook、パワーポイント資料

(2) 本時の展開

時間 (分)	学習内容・活動 (発問 ※補助発問 ・予想される反応)	支援と評価
5 (5)	1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。事前アンケート結果をもとに、自分の将来について考える。(自己を見つめる) 2 本時のテーマを共有する。	・事前にとったアンケートを提示し、本時の学習への動機づけとする。 ・本時で考えるべきことを明確にする。

		働くことで得られるものは何か
20 (25)	<p>3 範読を聞きながら、考える。 (多面的・多角的に考える)</p> <p>P63 06 まで</p> <p>(1)この女性はどうな人物か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事が続かない ・我慢ができない ・自分が情けない <p>※仕事に対してどのような考え方なのか</p> <p>P66 05 まで</p> <p>(2)仕事が好きになってきたのはなぜか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんとのコミュニケーション ・自分の力を生かしているから ・自分の成長を感じられたから <p>P66 018 まで</p> <p>(3)泣き崩れたのはどんな気持ちだったからか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい ・自分が認められている ・自分が必要とされている 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ルールの確認をする。たくさん考えを出し合う。同じ意見が出ても良い。 ・教科書を読ませずに、教師の範読を聞くようにさせる。必要に応じて教材を区切って発問し、パドレットに自分の考えを入力させていく。 ・転職自体は悪いことではないが、女性が転職を繰り返した一因としてそれまでの仕事に意義を見出せなかった（見出すまで続けられなかった）ことがある点に触れる。 ・女性がどんな思いで仕事に取り組んでいたかをおさえる。 ・女性が感じた働くことの魅力について多面的・多角的に考えさせる。 ・女性が感じた働くことの魅力について多面的・多角的に考えさせる。 ・自分の弱さを認め、自分の強みを生かそうとしたことにも気づかせたい。自分の考え次第で仕事楽しくなることにも気づかせたい。
15 (40)	<p>4 女性が仕事を続けることで得られたものについて、グループで話し合う。</p> <p>(4)新人研修でどんなことを教えているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の希望通りの仕事ができないこともあるかもしれないけれど、極めることで誇りをもてるようになる。 ・仕事のやりがいを見つけるのは自分自身だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで、女性が感じた働くことの魅力について多面的・多角的に考えさせる。 ・ホワイトボードにグループで話し合ったことをまとめさせる。 ・話し合いの際はパドレットの記述を参考にするよう促す。

10 (50)	5 本時のテーマについて考える。「働くことで得られるもの」についてロイロノートに記入し、提出する。 (自己を見つめる)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケートで考えた自分の職業観と比較しながら考えさせる。 ・自分の考えをまとめる中で、働くことで得られるものや素晴らしさに気づき、将来働くことへの希望をもてるように促したい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価の観点・方法】</p> <p>主人公の心境の変化を話し合うことにより、働くことで得られるものや素晴らしさについて、多面的・多角的な見方ができている。(発言・ロイロノートへの記述)</p> </div>
------------	--	---

(3) 板書計画(パドレットの画面)



(4) 授業の観点

- ①教科書を見ずに範読を聞きながらパドレット上で意見交換したことは、主人公の人間像を考えさせたり、心情を読み取らせたりするために有効であったか。
- ②オンライン掲示板アプリ「パドレット」を活用したことは、主体的な意見発信と、**多面的・多角的**な意見交換に有効だったか。

5 他の教育活動等との関連

事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路学習において、職業の種類やその職に就くための資格を取る方法、上級学校の種類などを生徒の興味関心に合わせ紹介する。 ・修学旅行の企業訪問に向けて、各企業への質問を考える。 <p style="text-align: right;">(キャリア教育)</p>
事後指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が入力したパドレットの入力画面を印刷し、教室内の道德コーナーに掲示する <p style="text-align: right;">(学級経営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問についてレポートにまとめる。 <p style="text-align: right;">(キャリア教育)</p>
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学級通信に授業の様子を載せて発行する。

6 ご高評